

本会議所・兵庫青商共催 2018年HYOGOビジネスセミナー

入場無料!

「幾多の苦難を乗り越えた吉野家の経営戦略と不屈のリーダーシップの役割

～講師：安部修仁 ㈱吉野家ホールディングス会長～

創業108年、「うまい」「はやい」「やすい」のキャッチフレーズで牛丼を提供し続ける吉野家。「牛丼戦争」「BSE危機」など幾多の困難の中、リーダーシップを発揮し経営危機を乗り越えてきた安部修仁・吉野家HD会長から、吉野家の経営戦略と人材育成、そしてリーダーの役割などについてお話しを伺います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

○日 時：3/29(木) 18:00

○会 場：神戸国際会館 9F 大会議室

TEL 078-231-8161 三ノ宮駅徒歩5分

○主 催：兵庫韓商、兵庫青商

○主 内容：①講演「幾多の困難を乗り越えた吉野家の経営戦略と不屈のリーダーシップの役割」(仮)

・講師：安部修仁 吉野家HD会長

②パネルディスカッション

・パネラー：安部修仁吉野家HD会長、高龍秀
甲南大教授、崔相鐵関西大教授、
青年経営者(男女)、他

・進 行：西村順二甲南大教授

③質疑応答、他

○参加費：無料

○定 員：150名 *先着順、事前申込み必要

■安部修仁氏プロフィール

1949年福岡県生まれ。高校卒業後、プロのミュージシャンを目指し上京。バンド活動の傍ら、吉野家でアルバイトとしてキャリアをスタート。その後音楽の道を諦め正社員として吉野家入社。1977年九州地区本部長、1980年同社倒産後、吉野家の再建を主導、1983年取締役、1988年常務取締役、1992年、42才の若さで代表取締役社長に生え抜きとして就任。在職中は「牛丼戦争」「BSE(牛海綿状脳症)問題」など数々の経営危機に直面しながらもリーダーシップを発揮して困難を乗り越え「吉野家の灯り」を守り続けるなど「ミスター牛丼」と称された。2007年グループ改組後、吉野家ホールディングス代表取締役社長、2012年同HD会長就任。2014年同HD代表取締役退任。現在は吉野家HD会長。

【お問合せ・お申込み】兵庫韓商

TEL:078-646-9611 E-mail:kim33@kccj.org(金)

2017年度(平成29年分)所得税・消費税

確定申告の相談・受付は韓国商工会議所へ

■開催日 ※受付時間) 10:00~17:00

《兵庫韓商での受付》

○2/16(金) ○2/19(月) ○2/24(土)
○2/26(月) ○2/28(水) ○3/2(金)
○3/5(月) ○3/7(水) ○3/9(金)
○2/21(水) 民団宝塚支部 ○2/22(木) 民団西宮支部

《尼崎韓商での受付》

○2月：月～金 ○3月：毎日(土・日は午後のみ)

■お問合せ・お申込み

兵庫韓商 TEL 078-646-9611

尼崎韓商 TEL 06-6482-2491

■申告に必要なもの

○所得税・消費税の申告書 ○印鑑(認印)
○収入・支出の分かるもの(帳簿・請求書等)
○生命保険・地震保険・長期損害保険の課税控除証明書
○国民年金に加入の方は国民年金保険料控除証明書
○医療費の領収書
○ご家族にパート・アルバイト等の収入がある場合は、その金額が分かるもの
○下記に該当者は別途資料が必要となります。
・土地・建物を売却または購入された方
・生命保険・簡易保険等の満期金を受領された方

一大阪総領事館・KOTRA大阪・大阪商議所共催一

韓国「高度人材」セミナー

○日 時：2/23(金) 14:00

○会 場：大阪商工会議所 4F

TEL 06-6944-6211 地下鉄谷町4丁目徒歩7分

○主 内容：①「高度人材」としての韓国人学生の可能性

②韓国人材の日本への就職状況・支援事業

③韓国人学生採用による事例紹介、他

○参加費：無料 *事前申込み必要

【お問合せ・お申込み】KOTRA大阪人材チーム

TEL:06-6262-3831 E-mail:humanosaka@kotra.or.jp

一当会議所 専門家委員会主管一

法律・税務・融資・労務等『無料相談窓口』

○2018年2・3月の開催日・場所

・2/7(水) 16:00 於：兵庫韓商

・3/7(水) " 於：民団西播支部

○内 容：法律問題、税務・経営問題、労務管理問題、入管関連問題、各種許認可問題、年金問題、他

○相談料：無料(国籍不問)。事前に申込が必要。

【ご予約・お問合せ】

兵庫韓商 TEL 078-646-9611

民団西播 TEL 079-281-0585

高龍弘社会保険労務士の中小企業経営者のための労働経済学Part12(最終回)

コ・ヨンホン

～苦境に立つ中小サービス業・・・～

■増えるサービス業の倒産

1月16日、東京商工リサーチは2017年の全国の企業倒産件数が8405件であったと発表しました。読売新聞は「27年ぶりの低水準」と見出しをつけ、「金融機関が積極的に融資をしたから」「景気の回復傾向だ」と伝えています。騙されてはいけません。1990年のバブル期には6468件でしたし、9年連続の減ではあるものの、16年に比べて0.5%しか下がっていないのです。つまり高止まりしています。また倒産企業の負債総額は57.9%増の3兆1676円に達しました。しかしこの中には「エアバックの不祥事」のため製造業として戦後最大の倒産となったタカタの1兆5千億円が含まれているため、差し引いて計算すると1件当たり約2億円の負債です。これが16年だと、1件当たり2億3千万円で大幅に下がっています。この場合、「下がっているから良い」のではなく、「借金の少ない（出来ない）中小零細の倒産が増えている」ということになります。これが近畿圏になるともっと厳しい。全国レベルの倒産件数は減っているのにもかかわらず、近畿では4.5%増で2171件、負債総額は2151億円で1件当たりは更に少なく9900万円なのです。

ひと頃の倒産業種は建設業が最も多かったのですが、増加が目立ったのは飲食、スーパーなどの小売、そしてパチンコなどのいわゆるサービス業です。年明け早々の大発会では日経平均が2万3千円台を突破し、幸先の良いスタートを切りしました。5日に行われた日本経団連、日本商工会議所、経済同友会による合同新年会で挨拶に立った安倍首相は、「経済の好循環を回すため、3%の賃上げをお願いしたい」と訴えました。東証1部上場企業と、賃上げを政府が保証した労働者にとっては好景気な1年になりそうですが、中小零細の経営者には厳しい年の幕開けになりそうです。

■悪化する消費者物価と消費者心理

同じ1月16日、日銀は国内企業物価指数を発表しました。これは企業間の取引を素材、加工途中の中間財、消費者に最も近い最終財の3つに分類して価格の水準を示す数値ですが、素材原料は35.3%と大幅に上昇したものの、最終財は11.5%に留まっています。普通に考えれば、素材が高騰すれば末端の最終財は更にアップしそうですが、全く逆の状態です。こ

れは「家計の節約志向が強く、企業努力でコスト上昇分を吸収し、価格転嫁を渋ったのが17年の特徴」とされています。そう言われると、少し前まで「ニャンキュッパ(2,980円)」とCMが流れていたのに、今は「タダ、タダ」に変わっています。夜の街を歩けば「最初一杯98円」など、缶コーヒーよりも安い看板が目につきます。大手スーパーのイオンは独自ブランドの商品を一律10%値下げしました。消費者の財布の紐は固く、内閣府は17年12月の消費者態度指数はガソリン高、生鮮食品の高騰などを受け「悪化している」と発表しました。値上げが出来ず更なる価格競争が続いているのです。

小売業や飲食業は、このデフレ時代に深夜営業や「飲み放題〇千円」など、薄利多売で何とか売上を維持してきました。そこに原材料の大幅値上げや人件費の高騰が襲い掛かってきたのです。また8%の消費税も大きな負担となっています。もちろん牛丼のすき屋やクロネコヤマトなどの大手サービス業者は値上げに踏み切ってマスコミを賑わせていますが、この動きについていけない中小のサービス業がどんどん脱落しているという状態なのです。

■最後に

さて、ご好評いただいた(?)「中小企業経営者のための労働経済学」も今回で最終となりました。最後まで倒産や不況がテーマとなってしまう、暗い話ばかりしてきたことをお詫びします。しかし、確かに新聞を読むと倒産件数が横ばいで、しかも負債総額の少ない中小零細企業が多いのは事実ですが、私ごとが言うまでもなく、会社は多種多様であり、その数だけドラマがあり、どんな時代でも人間一人ひとりの営みは続いています。楽天的・楽観的に新聞の統計を読むと、小回りの効く中小零細の経営者たちは、負債総額が少ないうちに(傷の浅いうちに)今の商売にさっさと見切りをつけて会社をたたみ、再起を図って準備しているようにも見えます。また関西にはビジネスチャンスが沢山あると考える頭の回転の速い経営者が多いため、近畿圏の倒産件数が増えているのではないかと読みます。そういえば昨日三宮を歩いていると、また新しい店が増えたような・・・。

最後までお付き合いくださり有難うございました。

企業業務を全面的にバックアップします！

《業務内容》

- 公的助成金・給付金の支給申請
- 各種書類の作成・代理代行
- 人事労務の管理・改善・アドバイス
- 年金問題などのご相談、他

【お気軽にご相談下さい】

社労士事務所 アジュール

社会保険労務士 ^コ高 ^{ヨン}龍 ^{ホン}弘 【兵庫韓商理事・専門家委員長】
【兵庫県社労士会神戸東支部副支部長】

〒657-0052 神戸市灘区神前町2-5-18

TEL) 078-862-3347 FAX) 078-862-3349

E-mail) asylky@yahoo.co.jp